

（仮称）17号池公園の整備状況について

（仮称）17号池公園整備は、「みんなにやさしい」をコンセプトに社会資本整備交付金を活用し、平成31年から令和3年までの3ヵ年、総額9億円で整備する計画としておりますが、「SDGs未来都市」に選定されたことや、魚住地区のタウンミーティングや地元説明会の意見等を反映し、下記の新たな施設の整備を検討し、併せて工期と整備費用の見直しを計画しております。



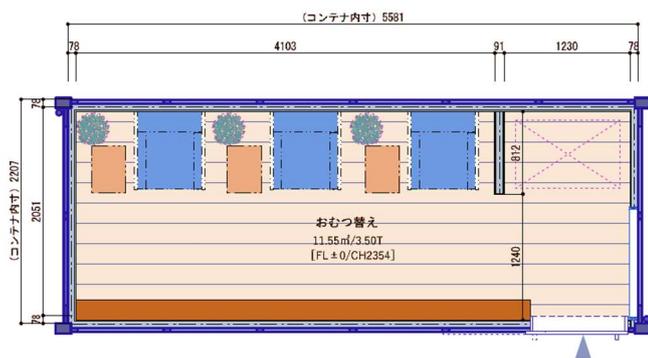
I 新たな施設

① インクルーシブ遊具

「SDGs未来安心都市・あかし〜いつまでもすべての人にやさしいまちをみんなで〜」の理念のもと、「みんな広場」は、障がいや年齢に関わらず、誰もが一緒に楽しめるよう車椅子でも利用できる勾配の緩やかな遊具や、視覚障がいがあっても音で一緒に楽しめるインクルーシブ遊具の設置を検討しています。（下図は参考図）



ナーサリ-施設の例



インクルーシブデザインの導入

公園整備など、まちづくりの分野では「ユニバーサルデザイン化」が進められていますが、今回はそこからさらに一歩進めて、計画段階から障がい者や高齢者といった多様な人たちとともに考える「インクルーシブデザイン」を導入し、誰もが「一緒に」「安心して安全に」「楽しめる」ことを目指します。

また、インクルーシブ遊具の設置はもとより、アクセスしやすい通路や誰もが使えるトイレ、休憩施設など(ナーサリ-施設)の整備もあわせて検討しています。

② 歩道橋

魚住地区のタウンミーティングや地元説明会でいただいた、「今まで通り堤体を降りることなく散歩したい」などの意見を反映し、国道2号と接する公園入口部分に歩道橋を架け、堤体を降りることなく、周遊路として周回できるようにします。(下図参照)

歩道橋のイメージ図



2 スケジュールと整備費用について

インクルーシブ遊具の設置は、まだ日本では事例が少ないため、SDGs 推進室とともに当事者団体と意見交換をしながら、より良いものになるよう検討し、整備内容を決定します。また、これらの検討期間と、新型コロナウイルスの影響による一部の資材調達の遅れにより、整備期間の延伸が必要となります。併せて、整備費用については、インクルーシブ遊具が約6千万円、歩道橋が約4千万円を見込んでおり、当初の総額9億円から、総額10億円の整備費となる予定です。なお、追加費用の1億円についても交付金を活用する予定です。(下記スケジュール表参照)

【スケジュール】

年度	概要	整備事業費 (整備予定事業費)
2019年(R元年)	造成・防球ネットほか	1億3,500万円
2020年(R2年)	地下埋設物布設・多目的グラウンド整備ほか	1億9,000万円
2021年(R3年)	緑のグラウンド・園路舗装ほか	(3億1,000万円)
2022年(R4年)	建築施設整備・インクルーシブ遊具整備ほか	(3億6,500万円)
	計	10億円

※国費の配分状況により事業期間は変動します。